

## 5. 無料配布物品と容器の種類、使用方法について

弊社では、検査ご依頼の際に必要な下記の物品を会員の先生方に無料でお送りさせていただいております。物品ご入用の際は、検査依頼書備考欄に下記の表の物品番号をご記入の上ご請求ください。

※非会員の先生にはお送りできません。ご了承のほどよろしくお願いたします。

### 検査依頼書等



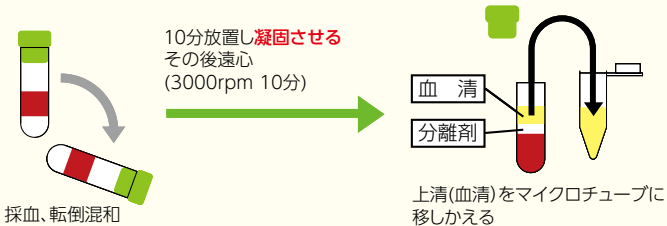
物品番号	物品名	送付単位	備考
⑭	臨床検査依頼書(犬用)	10枚	犬の臨床検査ご依頼用の依頼書です。
⑮	臨床検査依頼書(猫用)	10枚	猫の臨床検査ご依頼用の依頼書です。
⑯	病理組織検査依頼書	10枚	病理検査ご依頼用の依頼書です。
⑰	検体送付用封筒	10枚	この封筒をご利用いただいた場合、送料は弊社負担となります。

### 病理検査用容器

物品番号	物品名	送付単位	備考
⑦	容器 G: 病理容器大 (容量 300mL)	5個	 <p>容器 J 容器 G 容器 H 容器 I</p> <p>使用法は病理検査案内(15ページ)をご参照ください。</p>
⑧	容器 H: 病理容器中 (容量 100mL)	5個	
⑨	容器 I: 病理容器小 (容量 12mL)	5個	
⑩	容器 J: ヒートシールパック	5枚	
⑪	病理容器セット 大(2個)、中(2個)、小(4個) ヒートシールパック(2枚)	1セット	
⑫	細胞診用スライドケース	5個	 <p>細胞診用スライドケース</p> <p>細胞診の塗抹標本を送付する際は、細胞診用スライドケース(2枚用)に標本を入れ、付属のゴムバンドを2重にして留めてください</p>

### 臨床検査用容器

● 検査材料が全血の場合は EDTA で抗凝固処理をしてください。ヘパリンでの抗凝固処理は不完全になることがあり、結果に影響が出る可能性があります。

物品番号	物品名	
①	容器 A: 血清分離用採血管	
	送付単位	10本
	検査項目	生化学検査 感染症検査 内分泌検査 免疫学検査
	採血容量	大 3mL 小 2mL
	案内中表記	
		<p>使用方法</p>  <p>10分放置し凝固させる その後遠心 (3000rpm 10分)</p> <p>血清 分離剤</p> <p>上清(血清)をマイクロチューブに移しかえる</p>

物品番号	名称	
④	容器D：EDTA - 2K入り採血管	
	送付単位	5本
	検査項目	遺伝子検査 薬物検査
	採血容量	1mL
	案内中表記	全血  血漿 
使用方法		
⑤	容器E：マイクロチューブ	
	送付単位	10本
	検査項目	血清・血漿使用の検査 脳脊髄液や胸腹水使用の検査 <b>注意）遺伝子検査の検体には使用禁止です。</b>
	使用方法	全血から血清・血漿分離後、この容器に移し替えてください。
	案内中表記	
⑥	容器F：滅菌綿スワブ	
	送付単位	5本
	検査項目	鼻汁・涙液・唾液・糞便等使用の検査 遺伝子検査にも使用可
	使用方法	検体採取後そのままお送りください。
	案内中表記	
⑳	容器L：遺伝子検査用容器	
	送付単位	5本
	検査項目	遺伝子検査（全血・糞便以外）
	使用方法	採材後、同封のチャック付ビニール袋に入れてください。
	案内中表記	

## 6. 検査材料の保管期間

- 検体は検査結果の報告後、一定期間保管させていただきます。  
なお保管期間を過ぎた検体は当社で処分させていただきます。

血清・血漿	1週間
ホルマリン固定臓器	1ヶ月
全血・糞便・鼻汁・唾液・結膜スワブ	1日